

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-
es1@hokkaido.school.ed.jp

第 12 号 令和5年2月22日発行

3学期も残りわずか… 一日一日を大切に

立春を過ぎると少しずつ春が近づいてくるというのはあくまでも暦の上でのこと。2月も厳しい寒さが続きました。雪解けには、もう少し、時間がかかりそうですが、昼間の時間が長くなり、日差しから暖かさを感じ、春の訪れを実感できるようになりました。

昔から「一月は行く 二月は逃げる 三月は去る」と言われます。早いもので3学期の登校日は残り20日足らず、6年生はあと16日で卒業式です。

どの学年も次の学年に進級する準備を始めています。時間は待ってくれないので、一日一日を大切に取り組んでほしいと思います。

芸術鑑賞会 新潮劇院「孫悟空 天界で大暴れ」

2月17日（金）に芸術鑑賞会がありました。この芸術鑑賞会は、文化庁主催の「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」によるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により子どもたちへの文化芸術の鑑賞・体験をさせる機会が失われてきたことから、その機会を再興するため、小学校・中学校・高等学校等において、文化芸術団体のプログラムを提供し、公演を実施する目的で行われています。

上演された劇は、新潮劇院による京劇「孫悟空 天界で大暴れ」です。京劇は、舞台装置はほとんどなく、俳優が歌、台詞、しぐさ、立ち回りを駆使して、自分の手で様々な場面設定を舞台上に創り出す中国伝統芸能です。そのため、俳優の動きなどから場面の様子を想像しながら観る必要があります。子どもたちは、演出された場面を想像しながら楽しんでいました。また、派手なメイク、豪華な衣装でのお芝居、アクロバットや立ち回り、音楽の演奏など、テレビの画面や映画館では味わえない迫力のある演技にも大喜びでした。



コロナ禍で人との接触機会が減り、本物に触れる機会が少なくなっていたここ数年でした。しかし、この日の子どもたちの表情から「本物に触れる機会」の大切さを改めて感じました。